

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

準備する

撮る/見る

残す


使いこなす

その他

取扱説明書



<http://www.sony.co.jp/cam/support/>

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HANDYCAM®

HDR-CX420

警告 安全のために

→ 29～32ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
 - ② 電池を外す
 - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

詳しく知りたい (ヘルプガイド)

「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。

1 ヘルプガイドの掲載ページ にアクセスする。

[http://www.sony.jp/support/
manual_cam.html](http://www.sony.jp/support/manual_cam.html)



2 サイト内で本機の型名を探 して「ヘルプガイド」 (HTML)を開く。

- 型名は本機の底面をご覧ください。

目次

安全のために.....	2
詳しく知りたい(ヘルプガイド) ...	3

準備する

付属品を確かめる.....	4
バッテリーを充電する.....	5
電源を入れる.....	7
メモリーカードを入れる.....	8

撮る/見る

撮る.....	10
見る.....	13
テレビで見る.....	16

残す

PlayMemories Home™を 使う.....	17
外部機器とつなぐ.....	18

使いこなす

メニューを設定する.....	20
----------------	----

その他

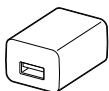
使用上のご注意.....	22
主な仕様.....	24
保証書とアフターサービス.....	26
各部のなまえ.....	27
安全のために.....	29
索引.....	33

付属品を確かめる

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

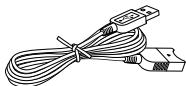
()内は個数。

- 本機 (1)
- ACアダプター (1)

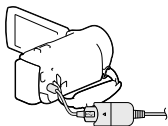


ACアダプターの形状は、国/地域により異なります。

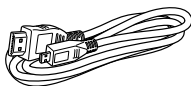
- USB接続サポートケーブル (1)



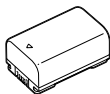
USB接続サポートケーブルは本機専用です。本機に組み込まれている内蔵USBケーブルの長さが足りないときに使います。



- HDMIケーブル (1)



- リチャージャブルバッテリーパック NP-FV50 (1)

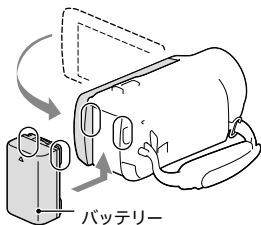


充電時など、本機をコンセントにつないで使うときには、必ずバッテリーを取り付けてください。

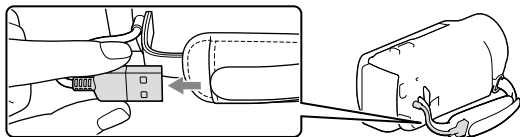
- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)

バッテリーを充電する

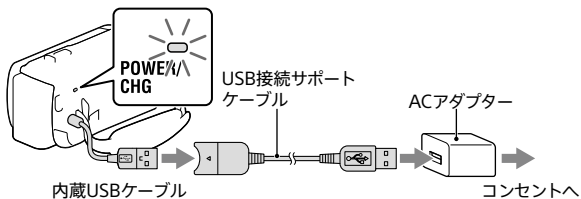
1 液晶モニターを閉じて、バッテリーを取り付ける。



2 内蔵USBケーブルを本機から引き出す。



3 USB接続サポートケーブルとACアダプターで、本機とコンセントをつなぐ。



- POWER(電源) /CHG(充電) ランプがオレンジ色に点灯します。
- POWER(電源) /CHG(充電) ランプが消灯したら充電完了です(満充電)。本機からUSB接続サポートケーブルを取り外してください。
- ACアダプターの形状は、国/地域によって異なります。

パソコンに接続して充電する

本機の電源を切り、内蔵USBケーブルでパソコンのUSB端子に接続します。

充電時間の目安(分)

バッテリー型名(付属)	ACアダプター(付属)	パソコン使用時
NP-FV50	165	305

- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25°Cの環境下でUSB接続サポートケーブルを使わずに満充電したときの時間です。

付属バッテリーの撮影/再生可能時間の目安(分)

バッテリー型名	撮影時間		再生時間
	連続撮影時	実撮影時	
NP-FV50	165	80	255

- 25°Cで、満充電から使用したときのおよその時間です。
- お買い上げ時の設定([**設定**]録画モード)：[標準 **HQ**]、([**設定**]手ブレ補正)：[インテリジェントアクティブ])での撮影時間です。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、撮影モードの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

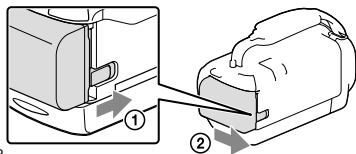
コンセントに接続して本機を使う

「バッテリーを充電する」の方法で、本機とコンセントを接続します。

- 本機にバッテリーを必ず取り付けてください。
- コンセントに接続していても、バッテリーの電力が消耗する場合があります。

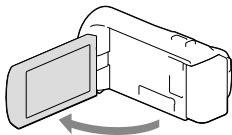
バッテリーを取り外す

電源を切った状態で、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら①、バッテリーを取り外す②。

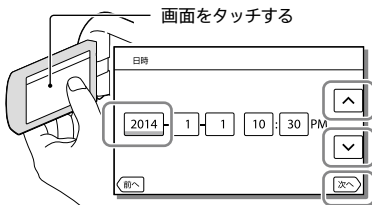


電源を入れる

1 液晶モニターを開いて電源を入れる。



2 本機の画面に従って、エリア、サマータイム、表示形式、日時を設定する。



電源を切るには
液晶モニターを閉じる。

日付と時計を合わせなおす

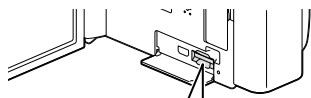
[MENU] → [セットアップ] → [時計設定] → [日時設定] を選ぶ。

操作音を切る

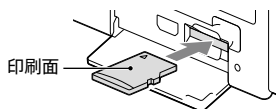
[MENU] → [セットアップ] → [一般設定] → [操作音] → [切] を選ぶ。

メモリーカードを入れる

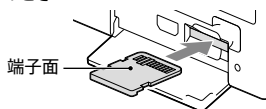
1 カバーを開き、メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む。



microSDメモリーカードのとき



メモリースティック マイクロ (M2) のとき



- [管理ファイル準備中しばらくおまちください]が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- まっすぐに正しい向きで挿入しないと本機で認識されません。

本機で使えるメモリーカード

	SDスピードクラス	動作確認済の容量
microSDメモリーカード/ microSDHCメモリーカード/ microSDXCメモリーカード	Class4以上	64GBまで
メモリースティック マイクロ™ (Mark2)	—	16GBまで

記録/再生メディアをメモリーカードに切り換える

[MENU] → [セットアップ] → [メディア設定] → [メディア切替] → [メモリーカード] を選ぶ。

メモリーカードを取り外す

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

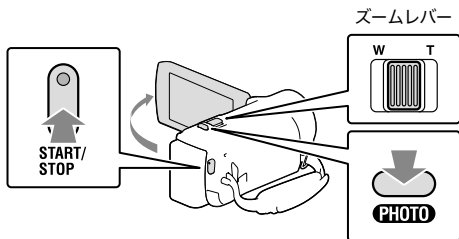
記録メディアをフォーマットする

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- フォーマットするには、**MENU** → [セットアップ] → [フォーマット] → フォーマットしたい記録メディア → **OK** を選びます。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

撮る

動画を撮る

1 液晶モニターを開き、START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。



- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。
- [同時ビデオ記録]を[入]にすると、HD動画とMP4動画を同時に記録します。MP4は、スマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開が簡単に行えるファイル形式です。
- 本機を数秒間操作しないと、液晶モニターの表示が消えます。再度表示するには、液晶モニターのボタン以外の部分をタッチします。

ご注意

- 撮影の際には液晶モニターに被写体が映っていることを確認してから撮影を開始してください。
- [録画モード]や[フレームレート]の設定によっては、静止画を撮影できません。
- 記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)の保存先を、動画と静止画で分けることはできません。

動画撮影中に静止画を記録する(写真同時記録)

- [手ブレ補正]を[インテリジェントアクティブ]以外に設定すると、動画撮影中にPHOTOボタンを押して、静止画を撮影できます。

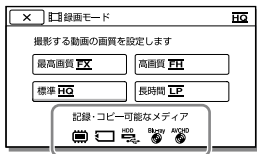
撮影者の声を抑えて撮る(マイボイスキャンセリング)

- **マイボイスキャンセリング**ボタン(27ページ)を押すと、動画撮影時に撮影者の声を抑えて撮影できます。

動画の画質を変える

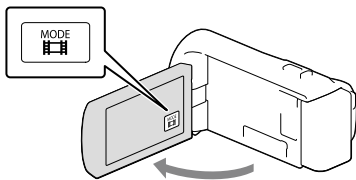
[MENU] → [画像・画質サイズ] → [録画モード] で設定する。

- コピーできないメディアのアイコンに⊙が表示されます。



静止画を撮る

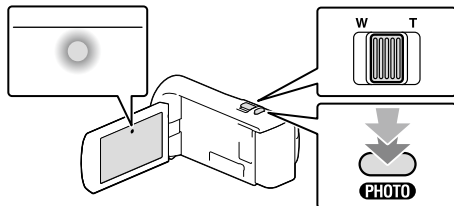
- 1 液晶モニターを開き、[MODE] → (静止画) を選ぶ。



- 2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。

ピントが合うと点灯

ズームレバー



およその撮影可能時間

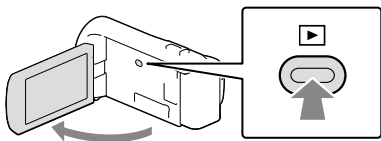
	内蔵メディア	メモリーカード(16 GB)
AVCHD動画	7時間15分*	3時間30分

* 記載されている最大撮影時間まで使用する場合は、デモンストレーション用の動画の削除が必要です。

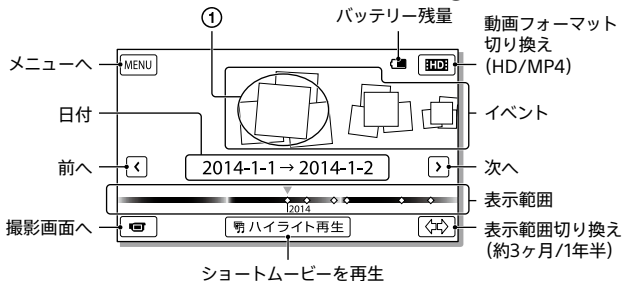
- [記録画モード]が[標準 HQ]で、お買い上げ時の設定時です。
- ソニー製メモリーカード使用時です。
- 実際の撮影可能時間/枚数は液晶モニター上でご確認ください。

見る

- 1 液晶モニターを開き、▶(画像再生)ボタンを押して再生モードにする。

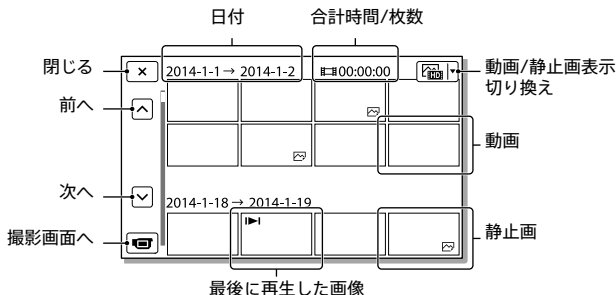


- 2 ◀/▶で見たいイベントを中央に表示させ、①の部分を選ぶ。



- 動画と静止画は、同じ記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)に保存されています(8ページ)。

3 画像を選んで、再生する。



再生時の操作

	音量		前へ/次へ
	削除		早戻し/早送り
	設定可能な機能		一時停止/再生
	止める		スライドショーの開始/停止
	モーションショット ビデオ		モーションショットビデオ 設定

再生/編集/他機に保存する動画(HD/MP4)を選ぶ

手順2で、画面右上の → [HD画質] または [MP4] を選ぶ。

画像を削除する

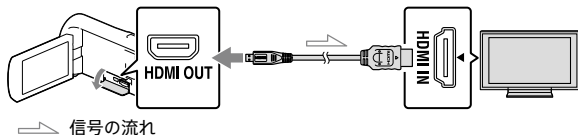
- ① 動画を削除するときは、手順2で → 削除したい動画の種類 (HD/MP4) を選ぶ。
- ② → [編集・コピー] → [削除] → [画像選択] で削除する画像の種類を選ぶ。
- ③ 削除したい画像に を付け、 を選ぶ。

本機の画像をメモリーカードにコピーする

- ① → [編集・コピー] → [コピー] → [内蔵メモリー→メモリーカード] → [画像選択] を選ぶ。
- ② コピーする画像の種類を選ぶ。
- ③ コピーする画像を選び、✓マークをつける。
- ④ → を選ぶ。

テレビで見る

1 HDMIケーブル(付属)で、本機のHDMI OUT端子とテレビのHDMI入力端子をつなぐ。



- お使いのテレビにHDMI端子がないときは、AVケーブル(別売)で本機のマルチ/マイクロUSB端子とテレビの映像/音声入力端子をつないでください。

PlayMemories Home™を使う

PlayMemories Homeでできること

撮影した動画、静止画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。AVCHD動画をパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeが必要です。



本機から画像をパソコンに取り込み



取り込んだ画像を再生する



PlayMemories Online™で画像をシェア



Windowsは以下の機能も使えます。



カレンダー表示



動画ディスクを作成



ネットワークサービスにアップロード

PlayMemories Homeをダウンロードする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりダウンロードできます。
www.sony.net/pm/

パソコン環境を確認する

ソフトウェアのパソコン環境は、以下のURLよりご確認いただけます。

www.sony.net/pcenv/

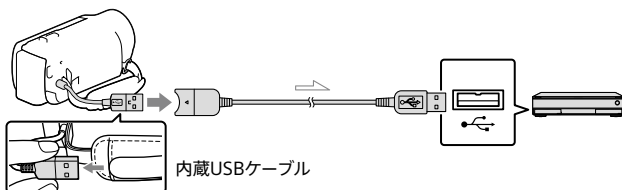


外部機器とつなぐ

- 相手機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機をコンセントとつなぐときには、バッテリーを取り付けてください。

USB端子があるレコーダーとつなぐ

本機とブルーレイディスクレコーダーを、内蔵USBケーブルでつなぎます。

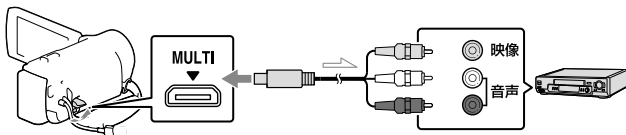


➤ 信号の流れ

- ケーブルが短いときは、USB接続サポートケーブル(付属)を使います。
- HD(ハイビジョン)画質で保存されます。
- MP4動画は保存できません。
- [60p画質]で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

USB端子が無いレコーダーとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子とレコーダーを、AVケーブル(別売)でつなぎます。

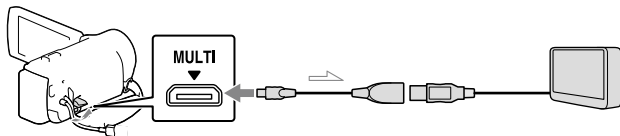


➤ 信号の流れ

- 標準画質で保存されます。

外付けメディアとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子と、対応の外付けメディアを、USBアダプターケーブル VMC-UAM2 (別売) でつなぎます。



信号の流れ

- HD (ハイビジョン) 画質で保存されます。
- バッテリーを本機に取り付けてから、ACアダプター (付属) を接続してください。

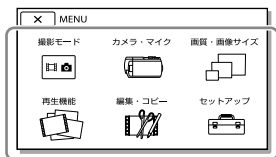
残す

メニューを設定する

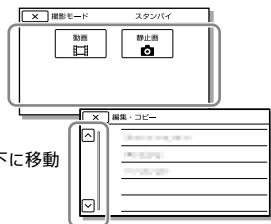
1 MENU を選ぶ。



2 カテゴリーを選ぶ。



3 設定したいメニュー項目を選ぶ。



上下に移動

- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには X を選びます。

メニュー一覧

撮影モード

動画

静止画

カメラ・マイク

マニュアル設定

ホワイトバランス

Spot測光フォーカス

スポット測光

スポットフォーカス

カメラ明るさ


フォーカス


Low Lux

カメラ設定

シーンセレクション

ピクチャーエフェクト

 フェーダー

 セルフタイマー

 手ブレ補正

 手ブレ補正

デジタルズーム

コンバージョンレンズ

自動逆光補正

顔

顔検出

スマイルシャッター

スマイル検出感度

マイク

プレミアムくっきり音声
マイボイスキャンセリング
内蔵ズームマイク
自動風ノイズ低減
オーディオモード
録音レベル

撮影補助

マイボタン登録
グリッドライン
画面表示設定
音声レベル表示

画質・画像サイズ

録画モード
フレームレート
同時ビデオ記録
画像サイズ

再生機能

イベントビュー
啗シナリオ再生

編集・コピー

削除
プロテクト
コピー
ダイレクトコピー*

セットアップ

メディア設定

メディア切換
メディア情報
フォーマット
管理ファイル修復
ファイル番号

再生設定

日付/データ表示
音量
モーションショットビデオ設定
BGMダウンロード
BGMデータ消去

接続

TVタイプ
HDMI解像度
HDMI機器制御
USB接続
USB接続設定
USB給電
USB LUN設定

一般設定

操作音
モニター明るさ
モニターで電源オン
キャリブレーション
バッテリーインフォ
パワーセーブ
設定リセット
デモモード

時計設定

日時設定
表示形式
サマータイム
日時
エリア設定

* 外付メディア(別売)を使用時に設定できます。

使用上のご注意

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- バッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

他機での再生について

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- メモリーカードを誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところで使わないでください。正しく撮影・再生ができませんことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- 「ヘルプガイド」(3ページ)を参照し、本機を点検する。
- バッテリーを取り外し、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。
- 設定リセットをする(21ページ)。リセットすると、日時などの設定が解除されます。
- ハンディカム™ホームページなどで確認する。

<http://www.sony.co.jp/cam/support/>



- 相談窓口にて電話で問い合わせる(裏表紙)。

主な仕様

システム

信号方式

NTSCカラー、EIA標準方式
デジタルハイビジョン方式

動画記録方式

AVCHD方式 (AVCHD規格 Ver.2.0準拠)

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：Dolby Digital 2ch/5.1ch ドルビーデジタル5.1クリエイター搭載^{*1}

MP4方式

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

^{*1} ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

静止画ファイルフォーマット

：DCF Ver.2.0準拠

：Exif Ver.2.3準拠

：MPF Baseline準拠

記録メディア (動画・静止画)

内蔵メモリ 32 GB

メモリースティック マイクロ (Mark2) microSDカード (Class4以上)

使用可能容量 約31.1 GB

容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。内蔵デモンストレーション動画は削除が可能です。

撮像素子：

3.1 mm (1/5.8型) CMOSセンサー

記録画素数：

静止画時 最大920万画素相当^{*2}

(4 032 × 2 272) (16 : 9時)

総画素数：約251万画素

動画時有効画素数^{*3} (16 : 9)：

約229万画素

静止画時有効画素数 (16 : 9)：

約229万画素

静止画時有効画素数 (4 : 3)：

約171万画素

ズームレンズ：Gレンズ

30倍 (光学)^{*3}、60倍 (クリアイメージ、動画時のみ)^{*4}、350倍 (デジタル)

フィルター径：37 mm

F1.8 ~ F4.0

f=1.9 mm - 57.0 mm

35 mmカメラ換算では

動画撮影時^{*3}：

f=26.8 mm - 804.0 mm (16 : 9)

静止画撮影時：

f=26.8 mm - 804.0 mm (16 : 9)

色温度切り換え：[オート]、[フワッッシュ]、
[屋内]、[屋外]

最低被写体照度：

6 lx (ルクス) (お買い上げ時、[シャッタースピード] 1/30秒)

3 lx (ルクス) ([Low Lux]が[入]時、
[シャッタースピード] 1/30秒)

^{*2} ソニー独自の画像処理システム BIONZ-Xにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

^{*3} [手ブレ補正]が[スタンダード]、または[切]のとき

^{*4} [手ブレ補正]が[アクティブ]のとき

入/出力端子

HDMI OUT端子：HDMIマイクロコネクター

MIC入力端子：ステレオミニジャック (φ3.5 mm)

ヘッドホン端子：ステレオミニジャック (φ3.5 mm)

USB端子：タイプA (内蔵USB)

マルチ/マイクロUSB端子*

* マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

液晶モニター

画面サイズ：7.5 cm (3.0型、アスペクト比 16 : 9)

総ドット数：460 800ドット

横960 × 縦480

電源部、その他

電源電圧：DC 6.8 V/7.2 V(バッテリー端子入力)、DC 5 V 1 500 mA(ACアダプター)、DC 8.4 V(DC端子入力)

USB充電：DC 5 V 1 500 mA

消費電力：

液晶モニター使用時、明るさ標準：
2.3 W

動作温度：0 °C～ 40 °C

保存温度：-20 °C～ +60 °C

外形寸法(約)：

57.0 mm × 59.5 mm × 119.0 mm
(突起部を含む) (幅×高さ×奥行き)

57.0 mm × 59.5 mm × 128.5 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態) (幅×高さ×奥行き)

本体質量(約)：

195 g(本体のみ)

撮影時総質量(約)：

250 g(付属バッテリー)

ACアダプター AC-UUD11

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電流：200 mA

消費電力：11 W

定格出力：DC 5.0 V

出力電流：1 500 mA

動作温度：0 °C～ 50 °C

保存温度：-20 °C～ +60 °C

リチャージابلバッテリーパック

NP-FV50

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 6.8 V

容量：


公称容量：7.0 Wh(1 030 mAh)

定格(最小)容量：6.6 Wh(980 mAh)

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- AVCHD、AVCHD Progressive、AVCHD ロゴおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™ およびBlu-ray™ はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークを明記していない場合があります。





保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモ

リー内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。

- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

部品の保有期間について

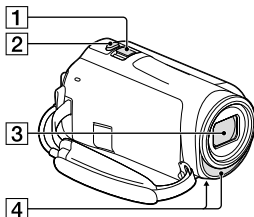
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

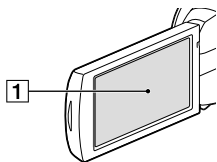
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

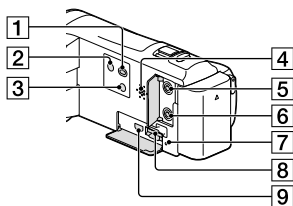
()内は参照ページです。



- 1 ズームレバー(10、11)
- 2 PHOTO(フォト)ボタン(11)
- 3 レンズ(Gレンズ搭載)
- 4 内蔵マイク

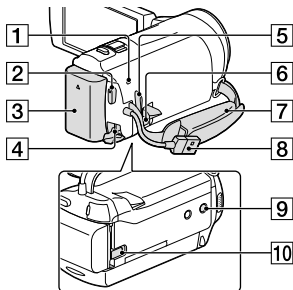


- 1 液晶モニター/タッチパネル

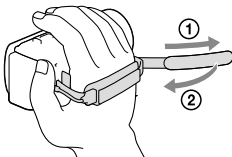


- 1 (画像再生) ボタン(13)
- 2 POWER(電源) ボタン
- 3 (マイボイスキャンセリング) ボタン
撮影者の声をおさえて動画を撮影します。
- 4 スピーカー
- 5 (マイク) 端子 (PLUG IN POWER)
- 6 (ヘッドホン) 端子
- 7 メモリーカードアクセスランプ(8)
- 8 メモリーカード スロット(8)
- 9 HDMI OUT 端子

その他



グリップベルトを締めるには



1 POWER(電源) /CHG(充電)
ランプ(5)

2 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(10)

3 バッテリーパック(5)

4 DC IN端子

5 ショルダーベルト取り付け部

6 マルチ/マイクロUSB端子

マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。
アダプターケーブル VMC-AVM1 (別売) は非対応です。
そのため、A/Vリモート端子対応のアクセサリーを使用できません。

7 グリップベルト

8 内蔵USBケーブル(5)

9 三脚用ネジ穴

10 BATT(バッテリー)取り外し
レバー(6)

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をほらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

その他

つづき



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取り外すときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

その他

危険 電池についての
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。



危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止



警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



禁止



注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。



指示

お願い



Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

索引

ア行

アフターサービス	26
液晶モニター	5
お問い合わせ先	36
主な仕様	24

カ行

記録/再生メディア	8
記録メディア	9
グリップベルト	28
故障かな?と思ったら	23
コピー	15
コンセントの電源で使う	6

サ行

再生	13
削除	14
撮影可能時間	12
撮影/再生可能時間	6
撮影者の声	11
三脚	28
写真同時記録	10
充電	5
充電時間	6
修理	26
使用上のご注意	22
ズーム	10
静止画	11
操作音	7
ソフトウェア	17

タ行

タッチパネル	11
テレビ	16
電源	7
動画	10
同時ビデオ記録	10
撮る	10

ナ行

内蔵USBケーブル	5, 18
日時	7

ハ行

パソコン	17
パソコン環境	17
パソコンに接続して充電	6
バッテリー	5
フォーマット	9
付属品	4
ブルーレイディスク	18
ヘルプガイド	3
編集	14
保証書	26

マ行

マイボイスキャンセリング	11
満充電	6
見る	13
メニュー	20
メニュー一覧	20
メモリーカード	8
メモリースティック マイクロ (Mark2)	8

その他

アルファベット

ACアダプター	5
AVCHD規格 Ver.2.0	18
AVCHD動画	12, 17
HD	18
HDMIケーブル	16
microSDカード	8
MP4	14
PlayMemories Home	17
PlayMemories Online	17
USB	5
USBアダプターケーブル	19
USB接続サポートケーブル	5
Windows	17

詳しい情報はヘルプガイド (HTML)へ(3ページ)

自己診断・警告

静止画の撮影可能枚数

メニューの詳しい説明

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能な
メモリーカードなど)

<http://www.sony.co.jp/cam/support/>



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

ハンディカムホームページ

<http://www.sony.jp/handycam/>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する
情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

…………… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

…………… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル

…………… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

…………… **050-3754-9599**

※ 取扱説明書等の購入相談はこちら
へお問い合わせください。



FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「400」+「#」(本機や付属品)
「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp>

HDR-CX420

